

施策マネジメントシート(2018年度の振り返り、総括)

作成日 2019 年 6 月 13 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 地域整備課 課長 古川 文雄
施策	9	道路の安全性と利便性の確保	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町内の道路利用者	安全に道路を利用できる。	基本事業	1 道路整備の推進・促進	町内の道路利用者	短時間で移動ができる。
			2 道路の安全性の確保	①町内の道路利用者 ②道路施設	安全に利用できる。
			3 冬期間の道路網の確保	町内の道路利用者	冬期間において道路を安全に利用できる。
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 道路の補修や橋梁の長寿命化を計画的に実施し、併せて道路愛護作業等による道路の適正な維持管理に努めます。 道路施設の健全化を図るとともに、都市計画道路未整備区間を早期開通させ、道路の利便性の向上を図ります。 迅速な除排雪や消融雪施設の適正な維持管理を行うとともに、住民自らが行う除排雪作業を推進し、冬の円滑な交通の確保に努め、事故や通行止めの発生を抑制します。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	
				A	町内の道路に不便を感じている町民の割合/道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合	%	実績値	50.3/63.5	53.7/56.3	53.4/56.3	
				目標値		48.0/60.0	47.0/58.0	46.0/56.0	45.0/54.0	44.0/52.0	43.0/50.0
				B	道路改良率/都市計画道路供用率	%	実績値	37.4/32.0	37.6/34.8	37.7/37.4	
				目標値		37.6/34.8	37.6/37.4	37.7/37.4	37.8/37.4	37.8/42.0	
				C	道路に関する情報・苦情件数(夏期/冬期)	件	実績値	130/219	30/101	26/59	
				目標値		130/195	125/190	120/185	115/180	110/175	105/170
				D	冬期間における交通事故発生件数	件	実績値	275	257	228	
				目標値		250	240	230	220	210	200
				E							
				実績値							
				目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が低くなれば、目的が達成できていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合 ※道路の除排雪・消融雪に不満を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合 B) 数値が高くなることにより、道路利用者が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。 ※道路改良率:道路台帳道路総括表より実数を把握 都市計画道路改良率:主管課で把握 C/D) 道路に関する情報・苦情件数及び交通事故発生件数については、殆どが冬場の積雪・凍結関係であることから、件数が減少することは道路の安全性・利便性の向上に繋がると考え成果指標とした。(夏期は4月～11月、冬期は12月～3月とする)</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 町内の道路に不便を感じている町民の割合については、毎年、計画的に地域の主要路線の改良を進めていること、また都市計画道路の未開通区間の一部が整備されることにより、若干の向上は見込まれるが、地域による道路愛護作業において、従事する町民の高齢化、人口減等により、日常的な維持管理が十分でなくなる事が想定されるため。 B) 道路改良率、都市計画道路改良率については、後開師線の予定区間が完了する予定であること、都市計画道路の未着手区間の一部(悪戸矢瀬線)の開通が見込まれる事から若干向上が見込まれる。 C) 道路に関する情報・苦情件数については、町道の舗装が経年劣化により全体的に傷んできていることから、成り行きでは件数は増加すると思われるが、補修・維持管理(事業化・直管等)を適正に実施することにより、目標値を設定する。また、冬期間の情報・苦情件数については、前記と同じく、地域人口の減少・高齢化等により除雪に対する要望が増加することが想定されるが、除雪機械の整備・更新を適正に行い、またオペレーターの確保に努めると共に、地域除雪の協力体制を拡充することにより、目標値を設定する。 D) 冬期間の事故発生件数については、冬期間の交通の安全確保に努めるとともに、町ホームページにリンクしている気象情報ライブカメラ、除雪車両マップ等の情報を、今後より多くの方に利用してもらうことにより、道路状況に応じた運転を心がけてもらうことにより件数は減少すると見込んでいる。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。 地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。 道路の危険箇所などを通報するとともに、雪道では特性を理解した運転に心がける。 地域ぐるみで除雪体制を考え、地域除雪に協力する。 	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に道路の整備を行う。 道路・橋梁等の道路施設の適切な維持管理を行うとともに、ホームページを活用した情報提供を行う。 道路愛護活動のための支援を行う。 降雪状況を把握して安全で迅速な作業(除雪、消融雪、凍結防止剤散布)を実施する。 除雪作業に必要な協力の呼びかけ(PR、広報)を行う。
---------------	--	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進むことで、これまで道路等の維持管理及び除雪に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。 地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。 道路施設の点検・整備・補修については、半永久的に継続される事業であることから、計画的な事業を進めるための事業費の確保が必要となる。 都市計画道路の開通により、道路利用者が分散され、渋滞緩和・移動時間の短縮が図られる。 除雪車両については、交付金を活用し計画的に更新を進めていくが、更新に膨大な費用を要することが見込まれる。 	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民の半数以上が町内の道路に不満・不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとはいえない。特に、「道幅が狭い」、「道路が暗い」、「除雪状況が悪い」との意見が多く寄せられている。 町民アンケートで、不便を感じている箇所や修理が必要な箇所を具体的に、年次計画を作成していく。 都市計画道路真政悪戸線徒渉橋開通により、利便性の向上が図れたが、残り区間、悪戸矢線及び真政工区(老人センター～17号バイパス)の早期完成が望まれている。 地域除雪の取り組みについての必要性。
-----------	---	--

施策	9	道路の安全性と利便性の確保	主管課	名称	地域整備課
				課長	古川 文雄

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①町内の道路に不便を感じている割合は平成28年度50.3%、平成29年度53.7%、平成30年度53.4%と前年度とほぼ横ばいであった。地区別にみると、月夜野地区53.5%、水上地区59.9%、新治地区47.6%となっている。不便と回答している内容を見ると、「道幅が狭い」、「暗い」、「歩道がない」、「草刈り・清掃などの維持管理が不十分」の割合が高い。また、道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は、平成28年度63.5%、平成29年度56.3%、平成30年度は56.3%と前年度と同ポイントであった。不満と回答している内容を見ると、「除雪状態が悪い」「対応が遅い」「除雪した雪の処理が不十分」の割合が高い。 ②道路改良率は、平成28年度37.4%、平成29年度37.6%、平成30年度は37.7%と数値はほぼ横ばいであった。町道の総延長が長いため、道路改良は進めているものの改良率に変化が現れない。 ③都市計画道路供用率は、平成28年度32.0%、平成29年度34.8%、平成30年度は37.4%と若干向上した。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	町の道路改良率は37.7%であり、平成30年度県内市町村における道路改良率の平均48.7%を11.0ポイント下回っている。なお、道路改良率は道路延長が短く人口が集中する都市部で高い傾向にある。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町の改良率が37.7% (実延長1,129.9km) であるのに対し、沼田市37.0% (1,399.5km)、中之条町36.2% (696.5km)、片品村40.2% (363.5km)、川場村60.9% (161.5km)、昭和村43.1% (528.7km)となっている。(平成30年4月現在)
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①町民アンケートによる「町内の道路で不便を感じている町民の割合」は平成29年度からほぼ変わらず53.4%となり、目標の47.0%を下回った。また、道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は平成29年度から変わらず56.3%であり、目標の58%を上回った。 ②道路改良率は、町道道路改良を進めた結果37.7%となり、目標値の37.6%を若干上回った。町道の総延長が長いため、率に表れにくい。都市計画道路供用率は、37.4%と目標値のとおりとなった。 ③道路に関する情報苦情件数は、夏期26件冬期59件であり、目標値夏期125件、冬期190件と比べかなり少なかったため、目標を大きく上回った。 ④冬期間における交通事故発生件数は、228件で目標値240件より少なかったため、目標を上回った。

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1 道路整備の推進・促進	A 町内特定区間の距離及び所要時間(月夜野IC～保健福祉センター～上毛高原駅～水上IC)	km/分	実績値 実績なし	12.6/20	12.6/20	
	B		目標値	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.0/15
2 道路の安全性の確保	A 道路施設(橋梁)点検済み率/補修済み箇所数	%/箇所	実績値	25/12	83/15	100/17				
	B		目標値	80/15	100/17	20/20	40/23	60/26	80/30	
3 冬期間の道路網の確保	A 冬期間の通行止め件数	件	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	B		目標値							
4	A		実績値							
	B		目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 道路整備の推進・促進	都市計画道路等の早急な整備が必要である。	①悪戸矢瀬線の未着手部分への工事を着手する。 ②後閑師線の改良工事を継続する。 ③真政線についてJRと踏切箇所移設協議を進める。 ④都市計画道路の見直し。
2 道路の安全性の確保	①道路の狭い部分を解消する。 ②橋梁等の道路構造物の安全性を確保する。	①野田原箕輪線の改良工事を継続する。 ②橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高速道路や新幹線及び国道17号を跨ぐ橋梁等の補修を進める。なお、集約化についても併せて関係機関との協議を検討する。 ③道路ストック事業に基づき、トンネル・法面等の長寿命化事業を進める。
3 冬期間の道路網の確保	①降雪時の道路の通行確保。 ②地域支援除雪の拡充。	①除雪路線の再検討。 ②冬期重機車両の運転手の確保。 ③委託路線の見直し。 ④地域支援除雪に対する除雪車等の貸与。
4		

09_道路の安全性と利便性の確保

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000001	国・県等土木施設整備促進事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	64,480 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				・国、県が実施する事業の要望活動の実施。 ・県土木事務所へ要望している事業の実現に向けて、県、町、町議との意見交換を目的とした土木行政懇談会の開催。 ・高速道路に架かる橋梁整備の事務局としての構成市町村等の調整事務等	要望内容を再検討し、要望する箇所を絞り込み、重点的に要望活動を実施した。	事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						懇談会開催回数			
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 ～ 年間		会計	1	款	8	項	1	目	1	1	回
							要望箇所を絞ると、削除された区等関係者からの異議が寄せられる可能性があるため、事前の説明が必要である。	引き続き、要望事項を再検討し、重点的に要望することにより、事業の早期完成を目指す。	1	0	回	

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000002	土木工事設計積算事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	737,882 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				(財)群馬県建設技術センターからの通知を受け、積算システム更新の案内や使用機器の調査を行う。製図システム保守の取り扱いを行う。積算歩掛等の購入。	書籍版建設物価については、Web版へ切り替えた結果、保管場所の問題が解決された。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						積算システムを利用して発注した件数				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	1	目	1	100	100	件
							書籍版建設物価については、会計検査対応のため長年保管する事となり、保管場所が相当必要。	積算業務の簡素を行うため、今後も積算システムを活用していく。	100	100	件		

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 6 月 6 日更新)

事務事業	000003	町道悪戸矢瀬線整備事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,794,952 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				悪戸矢瀬線整備 道路 L=600m W=15.0m	地権者と用地交渉を重ねている	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						整備済延長				
根拠	有	組織	地域整備	課	都市計画	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	4	目	2	0	0	m
							境界確定等の問題があり、用地交渉が難航している。用地の取得が課題になる。	地権者との用地交渉を進める	0	0	m		

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 6 月 6 日更新)

事務事業	000004	町道真政悪戸線整備事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	48,737,874 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				真政悪戸線整備 道路 L=700.0m W=16.0m 橋梁 L=100.0m W=16.0m	第1期計画は終了する。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						整備済延長				
根拠	有	組織	地域整備	課	都市計画	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業 H 27 ~ 5 年間		会計	1	款	8	項	4	目	2	220	210	m
							計画延長2,420mのうち、本年度に第1期計画が終了し第2期計画(1,120m)移行することとなる。	第2期の計画を検討する。	220	210	m		

09_道路の安全性と利便性の確保

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000005		町道真政線整備事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	57,344,679 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		県道沼田水上線、政所信号～東側大沢田出水線を結ぶ新設道路	全線開通に向け、踏切移設以外の工事を進めた。	事業実績						
	基本事業	01	道路整備の推進・促進				整備延長						
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係							
事業期間	継続事業 H 27 ~ 8 年間		会計	1	款	8	項	2	目	3	平成29年度	平成30年度	単位
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	R4年度の全線開通に向けJRと踏切工事に伴う協議が必要						
					R4年度の全線開通に向けJRと踏切工事に伴う協議が必要		踏切移設以外の工事を令和元年度に完了させる。令和4年度の完成を目指し踏切工事実施に向けJRと協議を行う。						
							0	0	m				

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000008		土木総務費負担事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	663,000 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて道路網等の整備促進を図る。 H29年度より事務事業を1本化した。	事業の早期完成のために、総会や陳情活動を実施した。	事業実績						
	基本事業	01	道路整備の推進・促進				総会開催数(みなかみ町が主体で行う)						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係							
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	1	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	どのような総会・要望活動が早期完成のために有効か検討し実施する。						
					引き続き、総会や要望活動を実施し、事業の早期完成を目指す。		4	1	回				

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000001		道路愛護活動事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,121,963 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		道路の環境美化を通じて公共福祉の増進と道路愛護意識の高揚を図るため春と秋の年2回、地区の住民による道路の清掃並びに修繕に対し支援を行う。	地区住民の高齢化や道路の老朽化が進んでいるため、本事業の利便性の強化が必要なことから、事業拡充について検討した。	事業実績						
	基本事業	02	道路の安全性の確保				道路清掃延長						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係							
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	・傷害保険の補償内容の見直し。 ・任意保険加入の推進を図る。 ・作業に伴う安全管理の周知を強化する。						
					使用する機械の土木会社からの貸し出しや、支給する資材についての拡充を検討し、地区内のマンパワーを最大限に活用できるよう、事業を改善していきたい。		453	441	km				

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000002		道路台帳管理事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	84,280,000 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		新設、改良等による町道の認定内容情報について、前年までの同データに加除して路線台帳を整備更新するもの。	統合電子化に向けた事業を実施中	事業実績						
	基本事業	02	道路の安全性の確保				新設、改良路線数・廃止路線数						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係							
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	台帳統合化並びにGIS情報化による市内他情報との複合情報一元化に必要な多額の財源の確保。						
					統合整備事業の完了まで予算化一時休止。指標は、統合整備業務の副産物から抽出		58	5	路線				

09_道路の安全性と利便性の確保

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000003	道路内民地未処理案件解決事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	289,703 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				町道の敷地内にある個人名義の土地の処理を行う。公共用地として取得し、管理を適正に行えるようにする必要がある。	申出があったものについて採納手続きを迅速に対応を行った。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						道路内民地を町名義に登録した件数				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
											2	4	件

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000004	道路維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	12,701,484 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				パトロールにより危険箇所の情報収集に努め、道路の欠陥・破損箇所を早期に発見補修し、町民生活に影響を与えぬよう道路を常に良好な状態に保つよう維持・補修を行う。	地元等からの要望事項について、その内容を精査し、原材料支給を絡めながら、事業費の大幅増を抑制した。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						修繕作業委託箇所数				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	2	平成29年度	平成30年度	単位
											41	38	箇所

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000005	三峰トンネル維持管理費負担事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	8,550,470 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				望郷ライン三峰トンネルの維持管理について、事務を沼田市に委託し、延長割りで負担金を支払うもの。	例年のとおり実施した。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						トンネルの長さ				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	2	平成29年度	平成30年度	単位
											1,605	1,605	m

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000006	道路ストック総点検・老朽化対策事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	127,840,391 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				全国各地で起きているトンネル内コンクリートの剥落や道路のり面上方からの事故が起こらないように適切に維持管理する事を目的とする。各種道路構造物を点検し、危険箇所について補修工事などの対策をとる。	道路補修工事の実施 道路舗装補修工事の実施 法面補修工事の実施	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						点検箇所数・補修設計数・補修工事数				
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	2	平成29年度	平成30年度	単位
											31・1・18	10・3・20	箇所

09_道路の安全性と利便性の確保

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元年 6 月 14 日更新)

事務事業	000007	単独道路補修事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	40,412,650 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			地区要望や日常パトロール等により発見された道路の異常箇所を補修する。	管内一円道路維持工事を発注し、異常箇所の修繕を迅速に実施した。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					実施件数(水上・月夜野・新治)					
②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策							
根拠	有	組織	地域整備		課	土木	係	事業費の確保が必要となる。					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	2	平成29年度	平成30年度	単位
											6・11・30	4・21・33	件

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元年 6 月 14 日更新)

事務事業	000008	単独道路改良事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	18,842,106 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			補助事業に該当しない小規模道路改良工事に伴う不動産鑑定評価業務、土地等売買契約、分筆・所有移転登記等工事等に向けての準備作業及び工事業務を行う。	小規模道路改良工事に伴う測量設計、土地売買、分筆並びに所有権移転登記事務を実施した。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					当年度実施済道路延長					
②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策							
根拠	無	組織	地域整備		課	土木	係	事業費の確保が必要となる。					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	3	平成29年度	平成30年度	単位
											0	0	m

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元年 6 月 14 日更新)

事務事業	000011	橋梁長寿命化事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	99,861,509 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			既設管理橋梁の定期点検を発注し、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化を図る。既設管理橋梁の職員による簡易点検を行う。また、計画に基づき補修及び修繕を行う。	町管理道路橋梁の法令点検・補修設計・補修工事を実施した。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					橋梁点検数・橋梁補修設計数・橋梁補修工事数					
②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策							
根拠	有	組織	地域整備		課	土木	係	事業費の確保が必要となる。					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	4	平成29年度	平成30年度	単位
											275・3・3	72・1・2	橋

平成 30 年 8 月 17 日作成 (令和 元年 6 月 21 日更新)

事務事業	000012	狭あい道路拡幅整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,268,475 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			・町道建明寺線(L=77.7m)用地買収・物件補償・道路拡幅工事 ・町道下牧原組線(L=62.8m)路線測量業務・用地買収・物件補償・道路拡幅工事 ・町道坂下2号線(L=28.5m)路線測量業務・用地買収・物件補償・道路拡幅工事 ・町道降田線(L=267.3m)路線測量業務・用地買収・物件補償・道路拡幅工事 ・町道外坊1号線他(L=229.0m)路線測量業務・用地買収・物件補償・道路拡幅工事 ・町道野田原宮輪線(L=560.0m)路線測量業務・用地買収・物件補償・道路拡幅工事	交付金事業と起債事業を組み合わせ事業執行を行った。権利者の承諾が得られた用地取得、支障物件撤去完了確認が出来た。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					狭あい道路事業延長					
②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策							
根拠	無	組織	地域整備		課	住宅政策	係	事業費の確保が必要となる。					
事業期間	継続事業 H 23 ~ 32 年間		会計	1	款	8	項	5	目	1	平成29年度	平成30年度	単位
											665.3	0	m

09_道路の安全性と利便性の確保

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000025	宮前河原線道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,260,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	ハルナプロデュースタニガリ工場前から県道沼田水上線まで延長270mの道路改良を行う。	地元説明会を行い、関係者の同意が得られるように進めてきた。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			当年度実施済道路延長			
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	建物等が支障になり、補償費が高くなる。	用地測量を進め、地権者に用地交渉を行い、用地取得を進めていく。	平成29年度	平成30年度	単位
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項			2 目	3	0
		H 30 ~ 6 年間							

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000026	鹿野沢西町線道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	9,277,200 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	鹿野沢地内の水上駅前から鹿野沢会館までの生活道路、延長150mの道路改良を行う。	説明会を行い、関係者の同意を得ながら進めてきた。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			当年度実施済道路延長			
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	説明会を開催し地元から現計画の理解と協力を得る	土地評価を行い、用地交渉を進め、用地取得後、地元関係者と調整しながら、工事を進めていく。	平成29年度	平成30年度	単位
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項			2 目	3	0
		H 30 ~ 3 年間							

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000027	三通り戸谷倉線道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	上牧地内の北小学校南校門付近から戸倉、戸谷地区を抜ける生活道路、延長1500mの道路改良を行う。	地権者及び地元関係者を協議を進め、道路線形の決定するように進めてきた。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			当年度実施済道路延長			
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	建物等が支障になる。砂防河川を通り抜ける為、大規模な構造物を建てる必要がある。上越線を越える為、JRと要協議。	地権者の同意がいただける箇所から順に用地交渉を行い、用地取得を進めていく。	平成29年度	平成30年度	単位
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項			2 目	3	0
		H 30 ~ 20 年間							

平成 30 年 8 月 24 日作成 (令和 元 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000028	花の木20号線道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,989,600 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	伊賀野地区への生活道路で、幅員が狭く、交互通行ができない為、待避所を整備し利用者の安全な通行を確保する。	県と協議し、隣接する河川の安全を確認しながら工事を進めてきた。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			待避所の整備			
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	地元要望もされ、地域の方も整備に協力的である。	地元へ周知をしながら、工事を進めていく。	平成29年度	平成30年度	単位
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項			2 目	3	0
		H 30 ~ 3 年間							

09_道路の安全性と利便性の確保

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000001	道路除排雪事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	97,221,959 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			道路に降った雪の除排雪を行い町民や来町者等道路利用者が安全で安心して通行できる道路を提供するため、除雪作業方法の選択や契約・現場管理に関する事務、及び破損個所の修繕業務	除雪情報システムを検証して除雪路線の見直しを行った	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	臨時職員の作業日数 ・除雪委託業者数 ・地域支援除雪団体			
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター	係	除雪経費削減。 直営オペレーターへの確保	直営路線の見直し	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	8			項	2	目	5	87・13・6

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000002	除雪機・除雪車等維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	16,657,686 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町が所有する除雪作業用重機・車両等の維持管理事業	職員及び臨時職員による簡単な整備の実施	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	保有台数・借上機械数			
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター	係	老朽化に伴う車両の維持管理費の増加	車両基地の整備	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	8			項	2	目	5	40・2

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000003	除雪機・除雪車等整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	45,693,444 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			除雪作業用重機・車両等の購入事業	4t除雪ダンプ(1台)購入	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	購入機械台数			
根拠	有	組織	地域整備	課	除雪センター	係	補助車両については、計画的な更新・増強を行っているが、単独車両の多くが老朽化しており、買い替え等が必要がある。	計画的な車両の更新	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	8			項	2	目	5	3

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000004	消融雪施設維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	69,643,982 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			消雪・融雪施設の維持管理業務。 【燃料・電気料、修繕・工事、施設及び電気設備管理委託、消雪施設電気料県負担金】	施設の更新工事 電源管理方法を改善した	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	散水施設箇所数・無散水施設箇所数			
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター	係	施設の通常経費の増加及び老朽化に対する維持費の増加	計画的な更新を行う	平成29年度	平成30年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	8			項	2	目	5	18・27

09_道路の安全性と利便性の確保

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000005	除雪情報システム管理事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,298,268 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			除雪車の運行管理システムを活用し現在地及び除雪経路等の確認、交通渋滞情報の提供等HPにて公開する。また、除雪費などの集計も行える。	システム用端末機の機種変更	事業実績		
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					除雪延長(監視延長)		
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター	係				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
					災害時の活用方法の確立、及びシステムのカスタマイズ費用が課題	有効的な活用方法の検討	平成29年度	平成30年度	単位	
							313	313	km	

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000006	みなかみ除雪センター除雪基地新築事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			建設、維持管理コストや他の施設との優先度や重要度を検討するための調査を実施する。	今年度は調査をしなかった	事業実績		
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					除雪基地数		
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター	係				
事業期間	継続事業 H 29 ~ 31 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
					除雪基地の建設には、湯原周辺の老朽施設等の対応やあり方全般についての検討が必要ことから、その調査を行い優先度や重要度を判断し、建設の可否を判断する。	水上支所の移転計画に合わせ方針を検討する	平成29年度	平成30年度	単位	
							0	0	棟	

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000007	消雪施設改修事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	56,160,800 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			老朽化が進む散水式消雪施設の計画的な更新。	補助金を活用し、計画的に更新工事に取り組んだ	事業実績		
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					改修工事の延長/ 既存散水式消雪施設の延長		
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター	係				
事業期間	継続事業 H 29 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
					散水式消雪施設は昭和50年代より随時整備を行ってきたが、老朽化が進み、保守点検等実施しておりますが、散水の効率が低下している。	随時更新工事を進める	平成29年度	平成30年度	単位	
							0/4768	300/5023	m	

平成 30 年 8 月 15 日作成 (令和 元 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000008	気象観測システム管理事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	21,546,400 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			平成25年度に気象観測局の設置、情報の収集・発信を行う観測装置の維持管理及びホームページに関する機器のメンテナンス	観測装置自体の保守点検を行った	事業実績		
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					年平均月間訪問者数		
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター	係				
事業期間	継続事業 H 25 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
					管理面積の広いみなかみ町では、全体的に気象観測をする事が非常に困難であると思う。 観測局毎に維持管理費用がかかるため、なるべく少ない設置箇所が望まれる。	利用者を増やすため、システムの整備を行う。	平成29年度	平成30年度	単位	
							52,445	36,808	人	